【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【公開番号】特開2008-249119(P2008-249119A)
【公開日】平成20年10月16日(2008.10.16)
【年通号数】公開・登録公報2008-041
【出願番号】特願2007-95103(P2007-95103)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｈ　37/02　　(2006.01)
Ｆ１６Ｈ　15/38　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｈ　37/02　　Ａ
Ｆ１６Ｈ　15/38

【手続補正書】
【提出日】平成21年2月25日(2009.2.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
それぞれ一側面に円弧面を有する前側及び後側の入力ディスクと、これら両入力ディスクの間に配置され両側面に円弧面を有する出力ディスクと、前記各入力ディスクと出力ディスクの対向する前記円弧面に接触するように配置されたローラと、を有し、前記ローラの前記入力ディスク及び出力ディスクに対する接触位置を変更することにより、前記入力ディスクに連結する入力軸の回転を無段に変速して前記出力ディスクに連結する出力伝達軸に出力するトロイダル式無段変速装置と、
少なくとも前記出力伝達軸に連結し、正転及び逆転を含むように変速して出力軸に出力するプラネタリギヤ装置と、を備え、
前記入力軸、前記トロイダル式無段変速装置、前記プラネタリギヤ装置及び前記出力軸を一軸状に配置してなる無段変速機において、
前記出力伝達軸は、前記出力ディスクの外周側で連結して、前記後側の入力ディスクの外径側をドラム状に囲むようにして前記プラネタリギヤ装置に延出してなり、
前記プラネタリギヤ装置は、ピニオンを回転自在に支持するキャリヤを固定部材として、前記ピニオンに噛合するサンギヤ及びリングギヤを有する反転ギヤ機構を有し、
前記入力軸は、前記前側の入力ディスクの前側で固定部材に回転自在に支持されると共に、その後側を前記プラネタリギヤ装置内に延長して、該後側において、前記反転ギヤ機構のキャリヤを構成する前記固定部材にて回転自在に支持されてなる、
ことを特徴とする無段変速機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
請求項１に係る本発明は、それぞれ一側面に円弧面（２ａ）を有する前側及び後側の入力ディスクと（２_{1}）（２_{2}）、これら両入力ディスクの間に配置され両側面に円弧面（３ａ）を有する出力ディスク（３）と、前記各入力ディスクと出力ディスクの対向する前

記円弧面に接触するように配置されたローラ（４，４）と、を有し、前記ローラの前記入力ディスク及び出力ディスクに対する接触位置を変更することにより、前記入力ディスクに連結する入力軸（１２）の回転を無段に変速して前記出力ディスクに連結する出力伝達軸（１３）に出力するトロイダル式無段変速装置（５）と、

少なくとも前記出力伝達軸（１３）に連結し、正転及び逆転を含むように変速して出力軸（１６）に出力するプラネタリギヤ装置（Ｕ）と、を備え、

前記入力軸（１２）、前記トロイダル式無段変速装置（５）、前記プラネタリギヤ装置（Ｕ）及び前記出力軸（１６）を一軸状に配置してなる無段変速機（１，１’）において、

前記出力伝達軸（１３）は、前記出力ディスク（３）の外周側で連結して、前記後側の入力ディスク（２_{1}）の外径側をドラム状に囲むようにして前記プラネタリギヤ装置（Ｕ）に延出してなり、

前記プラネタリギヤ装置（Ｕ）は、ピニオン（Ｐ２，Ｐ３）を回転自在に支持するキャリヤ（Ｃ２）を固定部材（１５）として、前記ピニオンに噛合するサンギヤ（Ｓ３）（Ｓ４）及びリングギヤ（Ｒ２）（Ｒ３）を有する反転ギヤ機構（７）（７’）を有し、

前記入力軸（１２）は、前記前側の入力ディスク（２_{1}）の前側で固定部材（２３，２５）に回転自在（１１）に支持されると共に、その後側を前記プラネタリギヤ装置（Ｕ）内に延長して、該後側において、前記反転ギヤ機構（７）（７’）のキャリヤ（Ｃ２）を構成する前記固定部材（１５）にて回転自在（２２，１８）に支持されてなる、

ことを特徴とする無段変速機にある。